

令和4年度第三者評価 改善状況報告書

令和 5 年 5 月 10 日

施設名	港区立赤坂区民センター	施設所管課	赤坂地区総合支所管理課
所在地	東京都港区赤坂4-18-13	指定管理者	公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和5年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和5年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
様々なポスターやお知らせが掲示されており、多くの情報が目にはいってくるが、やや雑多な印象があり、掲示コーナーによって整備のばらつきが見られた。利用者の興味関心を引く掲示、今一度意味を持たせた掲示コーナーの充実に期待したい。		港区からのお知らせと、キスポーツ財団のイベントチラシをラックで分けて区別しました。また利用団体の告知は、5階エレベーター前の掲示板に貼るようになっています。掲示期間を台帳管理して、期間が過ぎたものは掲示しないよう注意しています。	窓口にアクリル製のラックを追加し、直近の催事案内や、利用者から問い合わせの多いチラシや利用案内を置くようにします。 また、朝・昼・夜の点検時に掲示物の乱れが無いよう、引き続き職員によるチェックを強化し継続します。	イベントのチラシやお知らせについては、発信元や開催時期ごとに分類され、配置されています。また、チラシが少なくなってきたらすぐ補充したり、掲示物等をこまめに整理したりしており、利用者の方が見やすいよう配慮がされています。
区民センターは9名の職員によるローテーション勤務であり、かつ夜勤は職員1~2人が従事するため、夜間の緊急時を想定した訓練の定期的な実施が必要だと考えている。		上級救命講習を令和4年4月に入社した新人職員1名と、有効期間が過ぎた職員2名の再受講を実施しました。 全員が受講完了しています。  赤坂地区総合支所が実施する区有施設安全講習会、自衛消防訓練、避難所開設訓練に区民センター職員が参加し、参加出来なかった職員には資料回覧と訓練内容の伝達を行いました。	令和5年4月に財団本部が発行した「危機管理基本マニュアル」と「災害対策基本マニュアル」を全職員に回覧、周知し、受付に配置しました。また、これら基本マニュアルに沿った形で定期的に日勤、夜勤の職員全員が参加する災害対策講習会を定期的実施します。(4月13日と14日、5月8日と9日に実施済み)	あらゆる危機に対応するために策定した危機管理マニュアルに加え、区と連携して災害発生時の対応を適切に行うための災害対策マニュアルを策定しています。また、定期的に講習会や訓練を実施しており、夜間の緊急時に想定した対応を行っています。
親子で参加できる企画や勤務終了後の参加、また子育て中の母親が参加できるなど幅広い世代が参加できる事業の展開が期待される。		「創作ワークショップ(ステンドグラス作製)」を昼間の親子向けと、夜間の大人向け2講座に増やして実施しました。(令和4年7月25日と8月8日実施済)  「からだコンディショニング健康講座(ヨガ)」を夜間、主に勤務後の会社員をターゲットに実施しました。(令和4年前期・後期各3日間実施済)	令和5年度も体験講座(ステンドグラス)は親子向けと、大人向けの2講座開催します。さらに低年齢層の親子向けとして「英語でリトミック」、「0才からのファミリーコンサート」「ハロウィンイベント」を実施します。また、技能育成講座「はじめての講談」は今年度初めて小中学生を対象に実施します。	大人から子どもまで、あらゆる方がイベントに参加できるよう工夫してイベントを実施しています。

※評価結果の指摘内容等の中から、3点程度についての対応策を記載してください。